





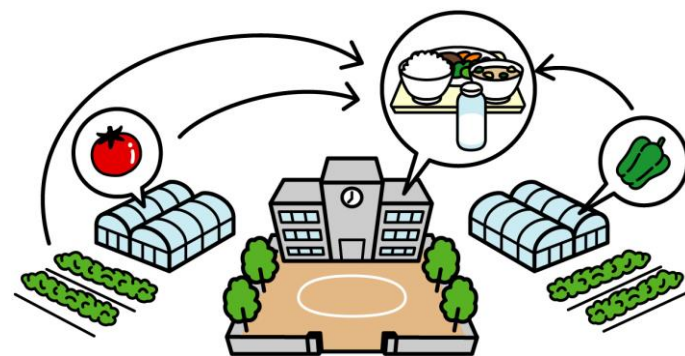
#### ④日本の農業を守るとりくみ

★T P Pの情勢・地産地消の各地の様子

#### ⑤組織強化のとりくみ

★仲間の輪リレー

★各県の加入状況及び交流



### 各県交流

#### 【中学校給食】について

高 知：中学校給食は平成 29 年に南国市、30 年に高知市で実現予定。

和歌山：もともとやっていない市町村が多いが、少しずつやってみたい市がでてきている様子はある。新規については統合やセンター化、民間委託の風潮がある。和歌山市はデリバリーで開始。

東 京：23 区はほぼ 100%。市部では給食のないところや、業者による弁当給食もある。

大 阪：弁当方式のため各校に配置された栄養教諭が、専門性を発揮できていない現状がある。

奈 良：少しずつ増えている。はじめた場合には栄養士が配置されるが、予算がつくのが遅かったために、臨時栄養士の配置が困難になっている。議員の声により、香芝市で中学校給食が始まった。栄養士は給食の実施日しか出勤できず、時間がないために小学校の栄養士が献立をたてるなどの弊害が出ている。

京 都：検討委員会ができ、少しずつ実施され始めている。今後増えていく方向だが、デリバリーなどが出てきているため、内容の充実が不可欠。

#### 【民間委託】について

高 知：毎年少しずつ調理業務の民間委託を増やしているが、混乱している現場がある。

埼高教：栄養教諭が寄宿舎併設の学校に配置されたことで、精神的な負担から体調を崩し病欠に入ったところもある。

佐 賀：特支 8 校中 2 校の調理業務が民間委託化された。

埼 玉：狭山市で P F I 方式のセンターがスタートする。調理業務の民間委託は費用がかかることから直営に戻す検討がはじまった自治体が出ている。

東 京：栄養士の民託に関しては、外に見えてこない事態が問題。該当校でも教職員の声が出ない。

奈 良：中学校給食も全て、調理業務は民間委託でスタート。

京 都：宇治市で自校直営の調理員が災害時の食事提供をしたことで、自校直営方式の給食を進めると明言していることは重要。

#### 【組織拡大】について

高 知：若手を中心に、毎年 1 人加入している。学習会がきっかけのことが多い。

和歌山：勧誘パンフを新たに作成。学習会を企画して、参加できる機会を作りたい。

佐賀高：組合員の退職が多いので組合拡大をしたい。

埼 玉：パワハラ相談をきっかけに 1 名加入あり。

東 京：4 月の交流会で、新採が 15 名参加。若手の悩みや現状を聞いた。その声をうまく拾って組合がよりどころになるような組織にしていきたい。今年度で 4 人、昨年度大会からは 8 名。退職者が多いため、現状維持はできない。連絡手段はメールやラインにすべきではないかということを検討。新規採用交流会を第 2 土曜に開催したことも重要ではないか。

大 阪：退職者が続いている。

奈 良：組合活動になかなか参加できない事を理由に、組合をやめる人が出ている。

京 都：学習会や声かけにより、1 名加入。

#### 【地産地消】について

高 知：地元産のものをを使うと、価格が高くなってしまふ。高知県産の米粉を使った米粉パンの回数が増えている。

埼高教：地産地消の使用比率は義務制の学校よりも高いと思う。卒業生が作っている味噌などを取り入れるなど、様々なかたちですすんでいる。

和歌山：冬で 40%だが、地域によっては生産がないために難しい。雨量が多いなど気候によってキャンセルが増え、すすまない現状もある。J Aなどが積極的に情報をくれる。地元のものを使うと安くなるので、できるだけあるものは使いたい。

佐賀高：40~50%が平均。学校別に年度ごとの地産地消率が発表されることもあり、1%でも上がるようになっている。

埼 玉：埼玉県産の小麦粉の使用率が減ったため、県教委交渉で理由を聞いた。

大 阪：堺市では、補助金がある。

奈 良：地元産のものをを使うと補助金が出る地域では、地場産の利用が増えている。



#### 【その他】

奈良：組合交渉により、栄養教諭の採用年齢制限が、一昨年 40 歳→昨年 44 歳→今年 50 歳に改善された。

京都：2 月 14 日に「より豊かな学校給食をめざす京都集会」を開催。

## 教育のつどい in 宮城にご参加を

みんなで 21 世紀の未来をひらく教育のつどい  
～教育研究全国集会 2015 in 宮城

〈日程〉8 月 16 日 (日) 17 日 (月) 18 日 (火)

**開会全体会** 8 月 16 日 (日) 13:00~15:30 仙台サンプラザホール

- ・講演 「世界の取材現場から ～子どもと戦争」  
金平 茂紀さん (TBS「報道特集」キャスター)
- ・被災地の子どもと教育をめぐる現状と課題 (被災地の教職員)
- ・現地企画 演劇「祖父の記憶」

**教育フォーラム** 16 日 (日) 16:30~19:00 仙台市内

**第 11 分科会** 体育・健康・食教育 仙台市内  
17 日 (月) 10:00~17:00 午前 研究協力者からの「討論の投げかけ」・交流  
午後 体育・健康からのレポート報告と討論

17:00~18:00 食教育小分科会 討論  
18 日 (火) 9:30~15:00 食教育小分科会  
「どの子もいきいきと輝く食育をめざして」京都 岡本さん  
「絵本に出てくる料理を給食に！」 東京 瀬上さん  
「献立のあり方って？」 埼玉 猪瀬さん  
15:00~16:00 全体で分科会のまとめ

★入場するには、参加券が必要です。事前に各県教組に連絡してください。

★17 日 (月) の分科会終了後、交流会を行います。参加できる方は、大会・学習会の時に常任までご連絡ください。

